

|          |   |     |          |
|----------|---|-----|----------|
| 科目名 クラス名 | 日本文学史 C   |     |          |
| 科目名 (英語) | History of Japanese Literature C  |     |          |
| 担当教員名    | 小林 実  |     |          |
| ナンバリング   | EDg2029   |     |          |
| 学科       | 2020～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 1年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 1年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年／2020～2026年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年／2022～2025年度 大学 非正規生 科目等履修生 1年 |     |          |
| 学年       | 1年  | 開講期 | 2026年度後期 |
| 授業形態     | 講義  | 単位数 | 2単位      |
| 遠隔授業対象科目 |   |     |          |
| 振替元科目    |   |     |          |

|                |   |  |  |
|----------------|---|--|--|
| 実務経験の有無        | 無 |  |  |
| 実務経験および科目との関連性 | 無 |  |  |

|                                       |  |                  |  |
|---------------------------------------|--|------------------|--|
| ねらい                                   |  |                  |  |
| ①科目の性格                                | 学科専門科目の必修／選択科目。  |                  |  |
| ②科目の概要                                | 日本文学史のうち近代文学（明治～昭和）の歴史について学修する科目です。明治期から昭和期までの小説を中心とする文学の歴史と、それに関する社会状況、出版状況などについて解説します。 |                  |  |
| ③授業の方法（ALを含む）                         | 教科書とパワーポイントを用いて講義を行い、期間中3回の小テストをしながらふりかえりとまとめを行います。                                      | ミニテスト／リアクションペーパー |  |
| ④到達目標                                 | 1. 日本近代文学史に関する基礎知識を身につける。<br>2. 日本近代文学史に関する各自の研究テーマを見つける。                                |                  |  |
| ⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする） | 【對自己-ED2】;自文化と多文化の理解と分析、【對自己-ED3】;情報収集と分析、【対人-ED1】;文学・芸術・文化に関する知識                        |                  |  |

|          |              |     |                |    |
|----------|--------------|-----|----------------|----|
| 教科書      |              |     |                |    |
| 書名       | 著者           | 出版社 | ISBN           | 備考 |
| 原色新日本文学史 | 秋山虔・三好行雄（編著） | 文英堂 | 978-4578271925 |    |
| 推薦書・参考文献 |              |     |                |    |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 履修上の助言、教員からのメッセージ | <p>【文学史の勉強のしかた】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 普段から図書館や書店に通う習慣をつけておく。岩波文庫を50冊以上置いている書店に行くこと。</li> <li>2. 文学史の教科書に出て来る作家名・作品名を、図書館や書店の本棚にさがし、背表紙のイメージを目に焼きつける。</li> <li>3. 図書館で「明治文学全集」「編年体大正文学全集」「昭和文学全集」「日本文学全集」をみつけて、各巻の目次をみておく。</li> <li>4. インターネットなどで作家の顔写真をさがして覚えておく。</li> </ol> <p>【おすすめの書店】</p> <p>池袋：ジュンク堂書店、三省堂書店（池袋本店）<br/> 浦和：須原屋本店<br/> 武蔵浦和：須原屋（武蔵浦和店）<br/> 南越谷：旭屋書店（新越谷店）<br/> 立川：オリオン書房（ノルテ店）<br/> 新宿：紀伊国屋書店（新宿本店）<br/> 神保町：三省堂書店（神保町本店）<br/> 東京：八重洲ブックセンター本店</p> |
|-------------------|---|

|             |  |      |
|-------------|--|------|
| 第1回         |  |      |
| 事前学習        | 教科書に目を通しておく。   | 90分  |
| 授業内容        | <p>【テーマ】出版界のイノベーション（1）<br/> 明治初年～明治12年までの文学状況について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末～明治初期の変革期における出版界の取り組み</li> <li>・戯作者の活躍</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第2回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】出版界のイノベーション（2）<br/> 明治10年代の文学状況について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁盛記物、新聞</li> <li>・翻訳小説、情史物</li> <li>・自由民権運動と文学</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第3回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】新日本の青年<br/> 自由民権運動の変質と新世代の台頭によって起きる文学革命について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディズレーリ、末広鉄腸</li> <li>・坪内逍遙、徳富蘇峰、硯友社</li> <li>・言文一致運動</li> <li>・二葉亭四迷、山田美妙、田辺花圃（三宅花圃）</li> </ul>                                      |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第4回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】紅霧の時代<br/> 明治20年代の文学状況について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治小説ブームの名残り</li> <li>・中間世代</li> <li>・国粹主義の時代と擬古典主義</li> <li>・饗庭篁村、幸田露伴、尾崎紅葉</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第5回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】浪漫主義の発生<br/> 明治20年代～30年代のロマン主義文学の隆盛について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ロマン主義」とは？</li> <li>・桂園派</li> <li>・森鷗外</li> <li>・北村透谷と「文学界」派</li> <li>・美文の流行</li> <li>・「藤晚時代」の詩壇</li> <li>・東京新詩社と硯友社</li> </ul>          |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第6回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ1】第1回まとめ（小テスト）<br/> 第1回～第5回の授業のふりかえりを行います。</p> <p>【テーマ2】庶民と文学<br/> 明治20年代～30年代の庶民向け文学と、それに関わる事項について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険小説、探偵小説、撥鬢小説</li> <li>・半井桃水、広津柳浪</li> <li>・『金色夜叉』</li> <li>・家庭小説</li> </ul> |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第7回         |  |      |

|             |  |      |
|-------------|--|------|
| 授業内容        | <p>【テーマ】自然主義への道<br/> 明治30年代～40年代における自然主義の勃興・隆盛について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言文一致体と写生文</li> <li>・エミール・ゾラの反骨精神</li> <li>・紅葉の死と硯友社解体</li> <li>・第2次『早稲田文学』</li> </ul>   |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第8回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】漱石の時代<br/> 夏目漱石の登場・活躍と、それを支えた読者青年たちの感性について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「修養の時代」と煩悶する青年たち</li> <li>・志賀直哉と白樺派</li> <li>・平塚らいてうと『青鞥』</li> <li>・永井荷風と『三田文学』</li> <li>・朧山書店の胡蝶本</li> <li>・明治43年という時代の節目</li> <li>・私小説</li> </ul>     |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第9回         |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】大正文壇の形成<br/> 高学歴者が構成する「大正文壇」について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏目漱石の死と次世代の台頭</li> <li>・人格主義コード</li> <li>・代表的な作家、雑誌</li> <li>・「文壇入り」のシステム化</li> </ul>   |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第10回        |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ1】第2回まとめ（小テスト）<br/> 第6回～第9回の授業のふりかえりを行います。</p> <p>【テーマ2】大正デモクラシーと大正恐慌（1）<br/> 大正時代の社会状況の変化と文壇への影響について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦</li> <li>・新中間層（サラリーマン世帯）の拡大</li> <li>・シベリア出兵と米騒動</li> <li>・大正9年不況と書けなくなる作家</li> </ul> |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第11回        |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ2】大正デモクラシーと大正恐慌（2）<br/> 大正恐慌以降の文壇状況について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロレタリア文学運動の発生</li> <li>・新感覚派の登場</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第12回        |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】前衛の季節<br/> プロレタリア文学派と芸術派が対立する社会背景について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大仏文科とフランス文学流行</li> <li>・同人誌ブーム</li> <li>・円本出版</li> <li>・芥川龍之介の死と次世代の台頭</li> <li>・小林多喜二と小林秀雄</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <p>【事後学修】授業時のメモ・ノートをもとめておく。<br/> 【事前学修】教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。</p>   | 180分 |
| 第13回        |  |      |
| 授業内容        | <p>【テーマ】日中戦争と文壇<br/> 昭和初期の社会状況と文壇編成の流れ、日中戦争に突入するまでの展開について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロレタリア文学運動の壊滅</li> </ul>   |      |

|             |   |      |
|-------------|---|------|
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジッド、シュストフ</li> <li>・求められる行動主義</li> <li>・『文学界』への収斂</li> <li>・『日本浪漫派』と『人民文庫』</li> <li>・太宰治</li> </ul>   |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <b>【事後学修】</b> 授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br><b>【事前学修】</b> 教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。   | 180分 |
| 第14回        |   |      |
| 授業内容        | <b>【テーマ】</b> 太宰治の時代（1）<br>日中戦争、アジア太平洋戦争下の文壇状況について解説します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火野葦平</li> <li>・文芸戦後運動</li> <li>・「近代の超克」</li> </ul>  |      |
| 事後学習・次回事前学習 | <b>【事後学修】</b> 授業時のメモ・ノートをまとめておく。<br><b>【事前学修】</b> 教科書の次回予定箇所をよく読んでおく。   | 180分 |
| 第15回        |   |      |
| 授業内容        | <b>【テーマ1】</b> 第3回まとめ（小テスト）<br>第10回～第14回の授業のふりかえりを行います。<br><b>【テーマ2】</b> 太宰治の時代（2）<br>昭和20年代の文壇状況について解説します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新日本文学会、『近代文学』</li> <li>・鎌倉文庫</li> <li>・マチネ・ポエティック</li> <li>・実存主義と新戯作派</li> <li>・風俗小説</li> <li>・原爆文学</li> </ul> |      |
| 事後学習        | <b>【事後学修】</b> 授業時のメモ・ノートをまとめる。  | 90分  |

|              |   |
|--------------|---|
| フィードバック      | 小テストの実施直後に詳細な解説をおこないます。                       |
| 評価方法および評価の基準 | 到達目標1 ミニテスト80/100%<br>到達目標2 リアクションペーパー20/100% |

| ループリック         |                          | 評価基準                                    |                                      |                                    |  |                            |
|----------------|--------------------------|---|--------------------------------------|------------------------------------|--|----------------------------|
| DP             | 評価項目                     | 【S】 到達目標以上に達している                        | 【A】 到達目標を十分に達成できている                  | 【B】 到達目標を達成できている（到達目標）             | 【C】 到達目標を最低限度は達成できている                  | 評価方法                       |
| 文学・芸術・文化に関する知識 | 近代文学に関する知識を有している         | 日本と世界の文学・芸術・文化に関する幅広い知識を非常によく身につけている    | 日本と世界の文学・芸術・文化に関する幅広い知識を十分身につけている    | 日本と世界の文学・芸術・文化に関する幅広い知識を身につけている    | 日本と世界の文学・芸術・文化に関する幅広い知識をある程度身につけている    | ミニテスト（80%）、リアクションペーパー（20%） |
| 自己・自文化理解、客観的分析 | 日本近代文学の特性を理解している         | 自己と自文化について考え、客観的に分析することが非常によくできる        | 自己と自文化について考え、客観的に分析することが十分できる        | 自己と自文化について考え、客観的に分析することができる        | 自己と自文化について考え、客観的に分析することがある程度できる        | ミニテスト（80%）、リアクションペーパー（20%） |
| 情報収集・分析        | 作家・作品に関する情報を獲得する能力を有している | 研究課題に関する効率的な情報の収集を行い、的確に分析することが非常によくできる | 研究課題に関する効率的な情報の収集を行い、的確に分析することが十分できる | 研究課題に関する効率的な情報の収集を行い、的確に分析することができる | 研究課題に関する効率的な情報の収集を行い、的確に分析することがある程度できる | ミニテスト（80%）、リアクションペーパー（20%） |
|                |                          |   |                                      |                                    |  |                            |